



# いずみ野



いずみのくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友だちが好き 学校が好き このまちが好き」  
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

## 「本物との出会い」

### ～本校を支える2つの教育活動～



副校長 小野 幹雄

5月後半、30度を超える日が何日間もありました。急に暑くなったために、暑熱順化できていない子どもたちの健康がとても心配でしたが、声をかけるとみんな元気に返事を返してくれる子が多く、いずみ野の子どもたちは強いなと思いました。

さて、いずみ野小学校に着任して2か月。早く学校の教育活動を理解し、子どもたちのことを知るため、毎日教室を回っています。また、学校での子どもたちがどのような学習をしているか、様子を見ていただけるように、学校ホームページも更新しています。その取組の中で、私がすばらしいと感じた、本校の2つの活動を紹介したいと思います。



1つ目は、生産活動です。本校の教育の特色の一つで、他の学校ではあまり見ることのできない貴重な活動です。1～3年生は、農家の方から畑を借りてサツマイモ栽培、4～6年生は、田んぼを借りてのもち米づくり。畑や田んぼの土に触れた子どもたちから、普段自分たちが過ごしている校庭の土との違いに気づくつぶやきが聞こえてきました。また、先日、学び隊の活動に参加したときのこと。「土を薄くかけたほうが良い種と、少し深く植えたほうが良い種があるのは、どうしてでしょう。」と生産ボランティアの方が子どもたちに問いかけていました。その答えが「種には発芽に光が必要な種(好光性種子)と、光に当たると発芽しにくくなる種(嫌光性種子)がある。」とのことでした。農家の方や生産ボランティアの方から苗の育て方や植え方などを直接教えていただくといった触れ合いの中で、新たな知識との出会いがありました。

2つ目は、いずみ野小学校運営委員会【MSI(マルチサポートいずみ野)】の活動です。他の学校でも同様の取組は見られますが、本校のような規模(参加者数)は、聞いたことがありません。手洗い教室では、手の雑菌が見えるようにしたことで、手洗いがどうして大事なのかを学び、一生懸命手洗いしている姿が見られました。ブックレンジャーの読み聞かせでは、子どもたちが普段自分では手に取らないような本との出会いがあり、子どもたちは目を輝かせながらお話を聞いていました。学援隊の方には、安全のために交差点で見守り、毎日挨拶をしていただいています。どの活動も子どもたちへの愛を感じずにはいられませんでした。



今回紹介した活動は、いずみ野小学校にいる方にとっては、当たり前な活動だと思えます。しかし、異動してきた私にとって、非常に驚きでした。土にたくさん触れる体験、植物を大切に育てる体験、新たな知識に出会う体験、地域の愛を感じる体験。どの体験にも、『本物との出会い』がありました。本校の教職員は、この『本物との出会い』を大切にしながら、子どもたちのよりよい成長につなげていきたいと考えています。今後とも本校の教育活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。